

平成 27 年度

平塚市高齢者よろず相談センターひらつかにし

<地域包括支援センター>

その他の事業

<かながわライフサポート事業>

平塚市高齢者よろず相談センターひらつかにし

制度改正により新総合事業の取り組みが始まり、地域との連携がこれまで以上に具体的に動き始めた年度であった。

また、当センターとしては金目地区にサテライト事務所を10月1日に開設し、担当圏域全体を均等に支援する体制づくりの第一歩となった。このサテライト事務所は相談窓口機能としてだけでなく、今後フリースペースを地域に活用して頂き、地域の拠点の一つとしての機能も持たせていきたいと考えている。

<介護予防ケアマネジメント事業>

- ・高齢者把握モデル事業として市高齢福祉課との協働で186件の訪問調査を実施したが、効果は予想より低い結果となった。
- ・ふれあいサロンを公民館や自治会館など9会場で定期的実施し、延べ79回開催した。介護予防体操のほか、健康講座や薬の講座、認知症サポーター養成講座などをサロンの場で実施した。

<総合相談支援事業>

- ・様々な相談内容に対して、行政機関、医療機関、介護・福祉関係機関との連携を図りながらワンストップの相談窓口として対応するよう努めた。
- ・個別相談ケースの支援やサロン活動を通じて、地域の民児協、地区社協、自治会等と関係づくりを重ねている。

<権利擁護事業>

- ・認知症サポーター養成講座を8回開催し、284名のサポーターを養成した。ふれあいサロンでの開催や自治会役員への開催のほか、金融機関など企業向けの開催もあった。また、H27年度より開始した認知症サポーター上級者研修に民生委員4名に参加して頂いた。
- ・個別相談ケースの対応の中で、認知症等の状況により権利擁護を必要としている方に、「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」の説明をし普及啓発に努めた。ほかに認知症サポーター養成講座においても普及啓発を行った。
- ・虐待を受けた高齢者への支援として、行政機関、医療機関、介護施設等と連携を図っている。前年度より継続支援しているケースについて、分離し老健入所中だった状況から特養入所につながられた。

<包括的・継続的ケアマネジメント支援事業>

- ・居宅ケアマネジャーからの相談に対し、同行訪問やカンファレンス開催支援を前期において延べ12件行った。
- ・居宅ケアマネジャーとの交流会を2回開催し、1回目は町内福祉村との交流・情報交換の場を設け、福祉村の役割と機能の周知と今後の連携のきっかけづくりをした。2回目

は富士見台病院PSWを招き、事例を使ってPSWの役割や精神科の入院制度の説明をして頂いた。居宅ケアマネが精神疾患のケースで精神科と連携しやすくなる機会となった。

- ・サロンの場を活用した地域ケア会議を重ね、地域の課題把握を進めた。また地区単位での小地域ケア会議も開催し、地域における支え合いの形づくりや地域課題への取り組みを進めた。

平塚市高齢者よろず相談センター
(地域包括支援センター事業)

(H27年度実績)

1. 総合相談件数(相談者実数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
新規実数	20	12	19	14	16	11	19	9	13	7	5	10	155	80
継続実数	48	16	21	12	11	6	20	4	9	12	12	17	188	162
計	68	28	40	26	27	17	39	13	22	19	17	27	343	242

2. 総合相談内容別延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
介護保険その他	67	57	80	81	77	58	104	53	77	50	62	91	857	534
保健福祉サービス	7	5	4	3	9	0	13	6	4	4	3	2	60	82
権利擁護	0	0	1	0	1	0	1	2	1	0	0	4	10	5
高齢者虐待	5	2	3	7	6	1	2	0	10	4	1	1	42	43
保健・医療	2	0	0	4	1	0	0	0	3	2	5	9	26	13
高齢者調査	7	0	15	3	1	0	0	1	0	2	2	3	34	8
認知症(疑い)	1	2	1	0	1	1	8	9	0	3	6	6	38	42
経済苦(生活苦)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	1	5	13	24
精神疾患(疑い)	0	0	1	3	1	0	9	10	3	2	0	1	30	2
その他	23	31	15	9	18	24	29	16	16	11	7	15	214	102
計	112	97	120	110	115	84	166	98	115	83	87	137	1,324	855

3. 各種申請の内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
介護保険関係申請	12	18	13	15	14	9	15	12	9	11	10	9	147	149
在宅高齢福祉サービス	4	4	2	10	6	0	9	6	2	5	34	3	85	68
計	16	22	15	25	20	9	24	18	11	16	44	12	232	217

4. 新予防給付(国保請求ベース)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
プラン作成件数	71	69	71	58	59	60	61	64	64	62	54	55	748	800
プラン委託件数	51	55	54	66	65	58	60	57	55	54	61	62	698	558
計	122	124	125	124	124	118	121	121	119	116	115	117	1,446	1,310
担当者会議開催数	13	10	10	11	7	11	14	7	5	4	8	8	108	111

5. 二次予防事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
二次予防対象者数	0	31	59	43	53	0	121	0	0	0	0	0	307	408
プラン作成件数	2	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	12	13

6. 居宅介護支援専門員への支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	0	3	1	0	1	0	2	2	4	2	5	4	24	109
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	7	21
質の向上のための研修	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	6	5
ケアプラン作成指導等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	6	3	2	1	1	2	2	5	2	5	8	37	136

7. 地域包括支援の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度
ふれあいサロン開催	7	7	7	7	4	7	7	7	6	6	7	7	79	76
地域ケア会議開催	6	6	6	7	5	8	7	6	6	6	8	8	79	76
地域組織への支援	7	7	7	7	5	9	7	8	1	1	2	0	61	9
域密着型施設運営推進会	1	2	1	1	0	1	1	2	0	0	1	1	11	12

8. その他の主な活動状況

認知症サポーター養成講座	4月17日 ニチイケアセンター介護職員向け、参加者36名。場所：ニチイケアセンター湘南銀河。
	5月21日 広川ふれあいサロン参加者24名。場所：広川自治会館。
	7月31日 堀之内自治会役員向け、参加者10名。場所：堀之内自治会館。
	12月1日 一般市民向け講座を吉沢公民館にて開催、7名参加。
	10月2日 金目ふれあいサロン(金目公民館)にて開催、30名参加。
	2月15日 中央労働金庫(ろうきん)職員23名に企業向け講座を開催。
	2月24日 土沢中学校にて開催。中学生42名、民生委員12名が参加。
	3月4日 金目中学校にて開催。中学生90名、先生10名参加。
居宅ケアマネと包括の交流会	6月11日 吉沢福祉村の役員8名、居宅ケアマネ5事業所13名、包括6名が参加。 内容：包括より地域包括ケアシステムについて説明。福祉村より活動内容説明と意見交換。 場所：吉沢公民館。
	12月16日 富士見台病院PSWを招き、事例を使ってPSWの役割や精神科の入院制度の説明をして頂いた。居宅ケアマネが精神疾患のケースで精神科と連携しやすくなる機会となった。居宅7事業所15名が参加。場所：ローズヒル集会室
金目地区コア会議	7月4日 地区社協、民協、自治会連合会、長寿会連合会の各会長と法人理事長、包括4名。場所：金目公民館。 内容：包括金目サテライト設置計画の説明。金目地区におけるサロンを拠点としたケアシステムについて。
	2月18日 地区社協、民協、自治会連合会、長寿会連合会の各会長と包括6名。場所：金目サテライト 内容：ふれあいサロンが金目地域包括ケアシステムの一環であることを共通認識として共有。金目地区における協議体はこのコアメンバー会議を膨らませていく方向で考えていくこととなる。
金目地区サロン運営会議	9月30日 地域の各団体役員32名、富士見台病院2名、市社協4名、包括4名参加。場所：金目公民館。 内容：サロンにおける包括の役割。サロンの送迎について。認知症サポーターのフォローアップ(上級者)研修と今後の地域での展開。
	3月16日 ふれあいサロン役員30名、富士見台病院1名、市社協2名、高齢福祉課1名、包括6名。場所：金目公民館。 内容：ふれあいサロンが金目地域包括ケアシステムの一環であることを役員全員と共有した。各サロンごとの地域ケア会議における個人情報の取り扱いについて検討。
金目・豊田地区のサロン運営者の交流会	7月29日 2つの地区のサロン運営役員の情報交換会。場所：西部福祉会館。 内容：大磯町包括職員2名を講師に招き講義、後半グループワーク。 参加者：金目地区13名、豊田地区22名、市社協2、市高齢福祉課3、包括にし5、包括とよだ5。
富士見台病院と包括の情報交換会	8月5日 富士見台病院にて情報交換会。富士見台PSW2名、包括3名参加。 3月4日 金目サテライトにて情報交換会。サロンにおける連携について振り返り。富士見台PSW1、NS1、包括3名。

平塚市地域包括支援センター ひらつかにし 平成27年度事業計画及び報告

1. 介護予防ケアマネジメント事業	今年度の取り組み・重点事項				取り組みの実施報告	
	内容(何を、どのように)	実施時期・回数	場所	担当者	前期	後期
①元気づくり高齢者の把握	<p>(1)モデル事業の実施 高齢者把握モデル事業として訪問による基本チェックリストを実施する。</p> <p>(2)高齢者調査戸別訪問 独居高齢者調査の戸別訪問を行い、対象となる方に基本チェックリストを実施する。</p> <p>(3)上記基本チェックリストの結果、対象となった事業や地域サロン等へつなげ参加を促す。</p>	<p>(1)5～9月 月2回程度</p> <p>(2)10月頃～</p> <p>(3)随時</p>	対象者宅訪問	<p>(1)看護師</p> <p>(2)(3)看護師を中心に全職種</p>	<p>(1)計画に沿って実施済み。市高齢福祉課との協同で186件訪問。</p> <p>(2)10月以降実施予定。</p> <p>(3)モデル事業訪問にて、2人が複合型教室への参加につながった。</p>	<p>(1)前期に実施済み。</p> <p>(2)民生委員と連携しながら訪問した。今年度対象者11人。</p> <p>(3)後期にて健康チャレンジやサロンにつながった方はいなかった。</p>
②講座及びサロンの開催支援	<p>(1)ふれあいサロンの開催 ○ふれあいサロンを9会場で引き続き開催していく。(地区社協の他、民児協、自治会、長寿会の協力を得ながら運営) ○サロンを地域互助の拠点ととらえ、地域福祉の啓蒙普及や支え合いのネットワークづくりを進める。 ○サロンの場を活用し、地域ケア個別会議の開催、介護予防、権利擁護、消費者被害防止等の講座を開催する。 ○サロン活動を通じて地域課題の把握をし、社会資源の発掘や普及につなげていく。</p> <p>①土沢サロン(土屋会場) ②土沢サロン(吉沢会場) ③金目サロン ④かわまえサロン ⑤真田サロン ⑥ウッドパークサロン ⑦北金目サロン ⑧片岡サロン ⑨広川サロン</p>	<p>①年6回 (奇数月第3月曜)</p> <p>②年6回 (偶数月第3月曜)</p> <p>③年10回 (毎月第1金曜)</p> <p>④年11回 (毎月第2金曜)</p> <p>⑤年6回 (奇数月第4火曜)</p> <p>⑥年6回 (偶数月第4火曜)</p> <p>⑦年10回 (偶数月第4水曜)</p> <p>⑧年12回 (毎月第4金曜)</p> <p>⑨年12回 (毎月第3木曜)</p> <p>年間計 79回</p>	<p>①土屋公民館 ②吉沢公民館 ③金目公民館 ④川前会館 ⑤真田自治会館 ⑥真田ウッドパーク集会所 ⑦中久保自治会館 ⑧片岡自治会館 ⑨広川自治会館</p>	<p>社会福祉士を中心に全職種</p>	<p>(1)計画通り9会場で実施している。前期で39回開催。サロン単位での地域ケア個別会議の開催(10回)も実施している。</p> <p>サロンの場を活用し、介護予防講座(コグニサイズ)や認知症サポーター養成講座、健康講座(ヤクルトによるおなか元気講座等)、葉についての講座(みずほ薬局)を開催した。</p> <p>サロン単位で地域課題の把握も進めている。</p>	<p>(1)計画通り9会場で開催行っている。後期で40回開催。サロン後にサロンの検証と介護予防への意識についての話し合いなどを行った。運営側地域住民に認知症予防などの県の研修への参加を展開し、5名の参加、参加者から情報を地区全体へ展開する学習会も行っていく。</p> <p>互助の関係性の構築としての定着が少しずつ進んでおり、一人での参加でサロンで関係性を作っていくことに参加の意味があると参加者から出てくるようになった。</p> <p>サロンごとの地域ケア会議を行い(12回)地域の個別課題から、地域で支えていく事について、移動の問題とサロン送迎のあり方とこれからについて等話し合った。</p>
③健康チャレンジケアマネジメント	(1)要支援者または基本チェックリストの結果健康チャレンジの対象者を必要なサービスや事業の利用につなげる。	(1)通年	対象者宅 サービス事業所、実施場所	<p>看護師 介護支援専門員 他全職種</p>	必要に応じてサービス等につなげている。(前期で1名)	健康チャレンジ事業の利用に12名の方がつながった。

2. 総合相談支援業務	内容(何を、どのように)	実施時期・回数	場所	担当者	前期	後期
①多様化する相談内容に対応できる体制づくり	<p>(1) 包括内ミーティングの活用 毎朝の包括内ミーティングにて、支援困難ケース等の情報を共有し、対応方法の検討を重ねていくことで、ノウハウを蓄積していく。</p> <p>(2) 包括内事例検討会の開催 事例検討会を定期的に行い、支援困難ケース等の情報を共有し、対応方法の検討、検証を重ねていくことで、ノウハウを蓄積していく。</p> <p>(3) 関係機関との連携 ①精神分科会等の関係機関との交流会に参加したり、②個別ケースの支援において関係機関と連携していくことで、顔の見える関係を築いていく。</p>	<p>(1) 毎日</p> <p>(2) 2ヶ月に1回</p> <p>(3) ①開催時、 ②随時</p>	<p>(1) センター内</p> <p>(2) センター内</p> <p>(3) ①開催場所、②相談場所</p>	<p>(1) 全職種</p> <p>(2) 全職種</p> <p>(3) ①社会福祉士、②全職種</p>	<p>(1) 毎朝、包括内ミーティングにて情報共有を図っている。</p> <p>(2) 包括内の事例検討会を2カ月に1回実施している。</p> <p>(3) ①精神分科会へ参加している。(前期1回7/28) ②富士見台病院と個別ケースの支援を通じて連携を図っている。また、8月5日に包括と富士見台病院との定例の意見交換会実施。病院PSW2名、包括3名。富士見台HP患者さんのふれあいサロンを継続してきたの評価と今後の連携について検討。富士見台HPとしても包括が進めている地域づくりと今後も連携図っていきたいとのこと。定例の意見交換会の中で事例検討などもやっていきたいとの意見もあり。</p>	<p>(1) 毎朝の包括内ミーティングにて情報共有を図っている。</p> <p>(2) 1/12支援困難ケースについて、関係機関(高齢福祉課、居宅ケアマネ、ヘルパー事業所)と支援終了後の事例検証を行った。</p> <p>(3) 富士見台病院とのこれまでの交流を踏まえて、ケアマネへの支援へ協力を要請行う中で、富士見台と包括職員間で話し合いを重ねて、精神保健福祉法の理解を行った。精神障害者への地域の理解と啓蒙、ひらつかにしが行っている包括ケアシステムの構築に対して、富士見台病院と協力、連携して今後も行っていく。サロンへの入院患者の参加等、確認を行った。</p>
②認知症相談の充実	<p>(1) 研修への参加 職員が認知症に関する外部研修に参加し、対応力の向上を図る。</p> <p>(2) 認知症ケアパス、よりそいノートの活用 相談対応を通じて必要な方に認知症ケアパスやよりそいノートを配布、説明し、活用を勧める。</p>	<p>(1) 年1回以上</p> <p>(2) 随時</p>	<p>(1) 開催場所</p> <p>(2) 相談場所</p>	<p>(1) 看護師、他</p> <p>(2) 全職種</p>	<p>(1) 現在のところ未実施。</p> <p>(2) 認知症ケアパスについては、今後認知症サポーター養成講座等にて説明するなど活用していく。 よりそいノートは今年度は現在のところ配布ゼロ。</p>	<p>(1) 7/17、10/6認知症サポーターキャラバンメイト研修へ2名参加した。</p> <p>(2) 認知症サポーター養成講座にてケアパスについて説明する。よりそいノートは今年度は配布ゼロ。</p>

<p>③支援における地域包括ケアシステムのネットワークの構築・活用</p>	<p>(1)地域とのネットワーク ふれあいサロン運営委員との地域ケア会議を重ね、地域の課題を把握し、また顔と顔の見える関係づくりを進め、包括も含め地域関係者間の支え合いのネットワーク構築を図る。</p>	<p>(1)月1回以上</p>	<p>(1)開催場所</p>	<p>(1)社会福祉士</p>	<p>(1)以前から引き続き、サロン活動を通じて民児協、チ区社協、自治会、長寿会との関係づくりを重ねている。</p>	<p>(1)金目地区サロンで、地区社協、民児協、自治会、長寿会との関係づくりは継続。土沢地区におけるのサロン参加者対象者のニーズ調査を行い、移動の課題を持って、地区社協、民児協と地域づくりの話し合いを重ねている。</p>
<p>④センター職員のスキルアップ</p>	<p>(1)包括内における取り組み2-①に同じ。 (2)外部研修への参加 外部研修に積極的に参加し、必要な知識や技能を身につける。 <外部研修> ・包括初任者研修(看護師) ・包括現任者研修(看護師、介護支援専門員) ・介護予防研修(看護師) ・権利擁護関連研修(3-⑥の達成のため)(社会福祉士、全職種) ・精神疾患・障害に関する研修(精神疾患・障害の症状を理解し適切なアセスメントが出来るようになるため)(全職種) ・認知症サポーターメイト研修(看護師) ・主任介護支援専門員スキルアップ研修(スーパーバイザーとしてのスキルを身に付けるため)(介護支援専門員)</p>	<p>(1)2-①に同じ。 (2)開催時</p>	<p>(1)包括内、他 (2)開催場所</p>	<p>(1)全職種 (2)左記計画の通り</p>	<p>(1)毎朝、包括内ミーティングにて情報共有することでスキルアップを図っている。 (2)外部研修 ・8月4日成年後見支援センターによる申し立て支援の研修会へ参加。(社会福祉士1名、介護支援専門員2人) ・7/17認知症サポーターメイト研修(看護師) ・4/26主任介護支援専門員スキルアップ研修(介護支援専門員) ・9/8精神保健福祉地域支援研修会</p>	<p>(1)毎朝、包括内ミーティングにて情報共有することでスキルアップを図っている。 (2)外部研修 ・10/6認知症サポーターメイト研修(事務員) ・10/11主任介護支援専門員スキルアップ研修(介護支援専門員) ・12/17精神障害者への対応研修(介護支援専門員) ・1/21成年後見制度講座(社会福祉士)</p>
<p>⑤医療機関(サポート医)とのネットワークづくりの推進</p>	<p>(1)個別ケースの支援を通じてサポート医、拠点薬局との関係を深め、連携しやすい体制を築く。 (2)ふれあいサロンへの拠点薬局の参加を計画し、地域と薬局の身近な関係づくりを進める。</p>	<p>(1)随時 (2)年4回</p>	<p>(1)支援場所 (2)サロン会場</p>	<p>(1)主任介護支援専門員、全職種 (2)各担当</p>	<p>(1)個別ケースの支援にて連携し、関係づくりを進めている。 (2)ふれあいサロンにて拠点薬局の薬剤師による講座を前期3回実施。後期にも1回予定あり。薬剤師が地域の方から携帯電話にてダイレクトに相談を受けられる身近な相談関係づくりにつながっている。</p>	<p>(1)個別ケースの支援にて連携し、関係づくりを進めている。 (2)ふれあいサロンにて拠点薬局の薬剤師による講座を前期3回、後期1回実施した。薬剤師が地域の方から携帯電話にてダイレクトに相談を受けられる身近な相談関係づくりにつながった。</p>

3. 権利擁護事業	内容(何を、どのように)	実施時期・回数	場所	担当者	前期	後期
① 認知症ケアパスの普及	<p>(1) ふれあいサロン、認知症サポーター養成講座等にて配布、説明し普及を図る。</p> <p>(2) 認知症の個別相談の対応の際に配布、説明し活用を促す。</p>	<p>(1) 年10回程度</p> <p>(2) 随時</p>	<p>(1) 開催場所</p> <p>(2) 相談場所</p>	<p>(1) 各担当者</p> <p>(2) 全職種</p>	<p>(1) については、完成したばかりでまだ実施していない、これからの取り組み。地域サロンや認知症サポーター養成講座、サポーターのフォローアップ等にて活用していく予定。不特定多数への配布はせず、必要な方へのみ説明の上、配布する。</p> <p>(2) 個別相談においても今後取り組んでいく。</p>	<p>(1) 認知症サポーター養成講座にて説明。今後サポーター上級者研修にて活用していく。</p> <p>(2) 個別相談における今年度の配布はゼロ。</p>
② 認知症サポーター養成講座の開催	<p>(1) 認知症サポーター養成講座を中学生向けに開催する。 土沢中学校(30名) 金目中学校(100名)</p> <p>(2) 市の計画に沿って一般市民向け講座を開催する。(20名×1回)</p> <p>(3) ふれあいサロンや地域ケア会議等の中でニーズを探り、地域住民向けや企業向けの講座を、必要に応じて都度開催する。</p>	<p>(1) 2～3月頃×2回</p> <p>(2) 11月(1回)</p> <p>(3) 随時</p>	<p>(1) 土沢中学校、金目中学校</p> <p>(2)(3) 公民館、自治会館等</p>	<p>(1)(2)(3) 各担当者</p>	<p>(1) 後期に計画中。</p> <p>(2) 後期に計画中。</p> <p>(3) 開催実績 ・4月17日ニチイケアセンター職員向けに市と共同開催(36名参加)。 ・5月21日ふれあいサロン広川の参加者、役員向けに開催(23名参加)。 ・7月31日金目地区堀之内自治会役員向けに開催(9名参加)。</p>	<p>(1) 2/24土沢中学校にて開催。中学生42名、民生委員12名が参加。終了後に民生委員からオレンジリングを手渡していただいた。</p> <p>・3/4金目中学校にて開催。中学生90名、先生10名参加。</p> <p>(2) 12/1一般市民向け講座を吉沢公民館にて開催、7名参加。</p> <p>(3) その他の開催実績 ・10/2金目ふれあいサロン(金目公民館)にて開催、30名参加。地域内のグループホームから認知症入所者と職員の参加もあり、職員さんから認知症の方の気持ちを代弁する講義をしていただいた。</p> <p>・2/15ろうきん職員23名に企業向け講座を開催。成年後見制度等について関心高かった。</p>

						<ul style="list-style-type: none"> ・3/2金目公民館にて市議員支援者向けに開催、38名参加。 ・3/22真田ふれあいサロンにて開催、31名参加。 ・3/28JA湘南土沢組合員向けに開催、34名参加。
③認知症サポーター養成講座修了者の育成事業	<p>(1)ふれあいサロン運営の活動の中でサポーター同士が交流しながら地域活動をしていけるよう支援する。</p> <p>(2)フォローアップ研修作業部会の進捗に応じて取り組みを進める。</p>	<p>(1)サロン開始時</p> <p>(2)適宜</p>	<p>(1)サロン会場</p> <p>(2)適宜</p>	<p>(1)各担当者</p> <p>(2)介護支援専門員</p>	<p>(1)金目地区のふれあいサロンにおいて、グループホーム入所者が定期的に参加し、地域との交流の場ができ、またサポーターの育成につながっている。また、サロン参加者への認知症サポーター養成講座にてグループホームのスタッフから認知症ケアの体験談を話してもらうなどの試みも行っている。</p> <p>(2)後期に計画している上級者研修への参加者を調整中(参加数4名)。</p>	<p>(1)金目地区のふれあいサロンにおいて、グループホーム入所者が定期的に参加し、地域との交流の場ができ、サポーターの育成につながっている。また、サロン参加者への認知症サポーター養成講座にてグループホームのスタッフから認知症ケアの体験談や認知症の方の気持ちを話してもらうなどの試みも行った。</p> <p>(2)土沢地区民生委員4名を上級者研修への参加につなげた。次年度は、金目地区の自治会にて上級者研修開催し、地域で認知症を支える取り組みを計画している。次年度、土沢地区ボランティア協議会向けに開催する計画もあり。</p>
④認知症の家族を抱える家族支援の強化	<p>(1)ふれあいサロンの中で、地域内の認知症介護者の支援をする。</p>	<p>(1)サロン開始時</p>	<p>(1)サロン会場</p>	<p>(1)全職種</p>	<p>(1)サロン役員やサロン参加者等からの認知症相談にその都度対応している(前期8件)。</p>	<p>(1)サロン役員やサロン参加者等からの認知症相談にその都度対応している(後期2件)。</p> <p>次年度はふれあいサロンにて、認知症ケアに関するミニ講座を計画し、認知症介護者支援を強化していく。</p>

<p>⑤日常生活を支える権利擁護への取り組み</p>	<p>(1)個別ケース対応の中で、認知症等の状況により権利擁護を必要としている方に、「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」の説明をし利用を勧める。</p> <p>(2)認知症サポーター養成講座(一般向け)や地域ケア会議、ふれあいサロンの場を活用して、事業や制度の紹介をしていく。</p>	<p>(1)随時</p> <p>(2)開催時</p>	<p>(1)相談場所</p> <p>(2)開催場所</p>	<p>(1)社会福祉士</p> <p>(2)全職種</p>	<p>(1)日常の相談対応の中で必要な方に制度の説明をしている。居宅ケアマネからの相談が前期3件。</p> <p>(2)サポーター養成講座の中で制度の紹介をしている。</p>	<p>(1)日常の相談対応の中で必要な方に制度の説明をしている。居宅ケアマネからの相談が後期5件。</p> <p>(2)12/1、2/5、2/15、3/2、3/22、3/28の認知症サポーター養成講座の中で制度の紹介をした。</p>
<p>⑥成年後見制度の利用相談体制の充実</p>	<p>(1)全職種が成年後見制度の説明ができるように包括内での勉強会開催や外部研修参加を進める。</p> <p>(2)成年後見支援センターとの連携支援センターの研修会や情報交換会に参加する。</p>	<p>(1)年1～2回程度</p> <p>(2)年1～2回程度</p>	<p>(1)包括内外</p> <p>(2)開催場所</p>	<p>(1)社会福祉士、全職種</p> <p>(2)社会福祉士</p>	<p>(1)(2)</p> <p>・8/4成年後見支援センターの研修に参加(社会福祉士、介護支援専門員)。</p> <p>・9/1土沢と金目の民協ブロック研修に参加。成年後見支援センターの機能や制度の説明を受けた。(社会福祉士、介護支援専門員)</p>	<p>(1)(2)</p> <p>・10/28地域支援連絡会にて成年後見支援センターとの意見交換に参加(社会福祉士)。</p> <p>・1/21成年後見制度講座に参加。(社会福祉士)</p>
<p>⑦高齢者虐待の相談体制の充実と虐待防止の普及啓発について</p>	<p>(1)チームでの対応 民生委員や居宅ケアマネからの相談に迅速に対応し、必要に応じて関係機関(行政、介護事業所、医療機関、地域組織等)とのカンファレンスを行い、チームでの解決を図る。</p> <p>(2)包括職員の対応力向上 包括内における事例検討会にて、虐待事例の検証と共有を行い、全職種の対応力の向上を図る。</p> <p>(3)普及啓発 ふれあいサロンの場を活用し、普及啓発を図る。</p>	<p>(1)随時</p> <p>(2)月1回</p> <p>(3)年2回程度</p>	<p>(1)相談場所</p> <p>(2)センター内</p> <p>(3)サロン会場</p>	<p>(1)社会福祉士、全職種</p> <p>(2)全職種</p> <p>(3)社会福祉士</p>	<p>(1)相談が入った際には、迅速にチームで対応している。</p> <p>(2)事例検討会を2か月に1回計画しているが、今年度はまだ1回の実施のみ。</p> <p>(3)前期は実績なし、後期に予定。</p>	<p>(1)個別の相談ケースの対応にて、行政、警察、居宅ケアマネ等と連携を図った。</p> <p>(2)虐待事例の検討会は開催なかった。</p> <p>(3)12/1、2/5、2/15、3/2、3/22、3/28一般市民等向けの認知症サポーター養成講座の中で虐待防止の説明をした。防止法の存在や通報義務等について知らない市民が多かった。</p>

<p>⑧虐待を受けた高齢者に対するケア体制の充実</p>	<p>(1)チームでの対応 必要に応じて関係機関(行政、介護事業所、医療機関、地域組織等)とのカンファレンスを行い、チームでの見守り、解決を図る。</p> <p>(2)一時保護の対応 緊急性の高い場合には、コア会議による虐待認定を経て一時保護施設(輪番制)の仕組みを活用し、安全確保の対応をする。</p>	<p>(1)(2)随時</p>	<p>(1)相談場所</p>	<p>(1)(2)社会福祉士、全職種</p>	<p>(1)相談が入った際には、迅速にチームで対応している。必要に応じて関係機関との連携を図っている。</p> <p>(2)前期には一時保護の事例はなし。対応のフローはスタッフ間で理解、把握している。</p>	<p>(1)分離保護していた被虐待者を行政と連携して特養入所につなげるまでフォローしたケースが1件。 虐待対応は終了したが、その後もサロンにて民生委員と連携しながら見守りを継続しているケースが1件あり。</p> <p>(2)今年度は緊急一時保護の対応ケースはなかった。</p>
------------------------------	--	-----------------	----------------	------------------------	--	--

4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	内容(何を、どのように)	実施時期・回数	場所	担当者	前期	後期
<p>①ケアマネジャーへの支援</p>	<p>(1)支援困難ケースを抱えている居宅ケアマネに対し、同行訪問やカンファレンス、地域ケア個別会議の開催等により必要な支援を行なっていく。</p> <p>(2)居宅ケアマネ向けに圏域内において交流会、研修会、勉強会を開催する。(予定テーマ「地域ケア会議、地域包括ケアの理解」)</p> <p>(3)主任ケアマネ連絡会における包括ケアマネのスキルアップ研修に参加し、スーパーバイザーとしてのスキル向上を図る。</p>	<p>(1)随時 (2)年1回 (3)年4回程度</p>	<p>(1)利用者宅、地域ケア会議 (2)開催会場 (3)開催会場</p>	<p>(1)(2)主任介護支援専門員、介護支援専門員、全職種 (3)介護支援専門員</p>	<p>(1)居宅ケアマネからの相談に対応し、同行訪問、カンファレンス等の支援を行っている。(前期12件)</p> <p>(2)6/11居宅ケアマネとの交流会開催。福祉村役員も参加いただき、居宅ケアマネに福祉村の役割と機能を周知し、今後の連携のきっかけづくりをした。地域包括ケアについての説明も行った。</p> <p>(3)主任ケアマネ連絡会主催の研修会に4/26参加。11月、1月にも予定。</p>	<p>(1)居宅ケアマネからの相談に対応し、同行訪問、カンファレンス等の支援を行っている。(後期8件)</p> <p>(2)12/16居宅ケアマネとの交流会開催。富士見台病院PSWを招き、事例を使ってPSWの役割や精神科の入院制度の説明をして頂いた。居宅ケアマネが精神疾患のケースで精神科と連携しやすくなる機会となった。居宅7事業所15名が参加。</p> <p>(3)主任ケアマネ連絡会主催の研修会に4/26に続き、10/11に参加。</p>

<p>②地域ケア会議(個別ケア会議、小地域ケア会議、日常圏域会議)を開催する</p>	<p>(1)個別ケア会議 ○居宅ケアマネ支援を通じて個別ケア会議の開催につなげていく。 ○居宅ケアマネのふれあいサロンへの参加を促し、個別ケア会議を開催しやすい関係作りを進める。</p> <p>(2)小地域ケア会議 ○ふれあいサロン開催に合わせて、毎回サロン後に小地域ケア会議を開催する。(地区社協、民児協、自治会、長寿会、医療・介護関係者等) ○金目地区・・・金目地区サロン運営会議を開催していく。(地区社協、民児協、自治会、長寿会、医療・介護関係者等) 金目地区コア会議を開催していく。(地区社協会長、民児協会長、自治連会長、長寿会会長) ○土沢地区・・・小地域ケア会議開催に向け、ふれあいサロン、小地域ケア会議の充実を図る。必要に応じて福祉村との連携を図っていく。</p> <p>(3)日常圏域ケア会議 各地区の小地域ケア会議を通じて、開催を検討する。</p>	<p>(1)随時 (2)サロン年間79回 金目：各年3回程度 土沢：年1回程度</p>	<p>(1)(2)(3)公民館、自治会館等</p>	<p>(1)(2)(3)社会福祉士、全職種</p>	<p>(1)前期において20件の個別ケア会議を開催した。</p> <p>(2) ・サロン後のケア会議は計画通り実施している。 ・金目地区においては、地域組織の代表による「地域コア会議」(各会長4名+包括)と地区サロン役員が参加する「サロン運営会議」(約50名)という2段階の形で開催している。 ・土沢地区においては、自治会、地区社協、民児協、福祉村と実施に向けて調整中。またふれあいサロンにて個別ケア会議を重ね、小地域での実施に向けて取り組んでいる。</p> <p>(3)実績なし。(日常圏域ケア会議廃止となるため今後も計画はない)</p>	<p>(1)後期、9件の個別ケア会議を行った。1件に関して、自治会単位全体での個別地域ケア会議を行い、認知症高齢者についての理解を行っていきたいという意見もあがった。</p> <p>(2) ・ふれあいサロン開催に合わせての地域課題を話し合う地域ケア会議を15回行った。 ・金目地区団体代表者による地域ケア会議、金目地区サロン運営メンバー全員による地域ケア会議を開催した。 ・土沢地区社協と民児協と新サロンの開催と移動の課題について地域ケア会議を3回行った。</p>
--	---	---	---------------------------	---------------------------	--	--

5. その他	内容(何を、どのように)	実施時期・回数	場所	担当者	前期	後期
<p>夜間休日体制の充実</p>	<p>(1)夜間については、併設施設の宿直員にて受けた電話相談に対して、緊急でなければ翌営業日にて対応、緊急の場合は管理者の携帯電話に連絡が入り、必要に応じて対応する体制をこれまで同様継続していく。</p> <p>(2)休日については、土曜日は包括もしくは居宅の職員が1名出勤しており、電話相談、来所相談、訪問相談などに対応している。日曜・祝日については日直担当者にて受けた電話相談に対して、緊急でなければ翌営業日にて対応、緊急の場合は管理者の携帯電話に連絡が入り、必要に応じて対応する体制をこれまで同様継続していく。</p>	<p>(1)(2)随時</p>	<p>(1)(2)施設、センター</p>	<p>(1)管理者 (2)担当者、管理者</p>	<p>(1)計画通りに実施している。前期では夜間の緊急相談等はなかった。</p> <p>(2)計画通り実施している。土曜日の電話・来所相談は比較的多いが対応できている。</p>	<p>(1)前期では夜間の緊急相談等はなかった。</p> <p>(2)計画通り実施している。土曜日の電話・来所相談は比較的多いが対応できている。</p>

H27年度 職員研修実績(施設内・施設外)

地域包括支援センター

月/日	研修名	研修内容	実施機関	受講者(職種:延人数)
4月26日 10月11日	H27年度 グループスーパービジョン研修会	ケアマネ支援のためのスーパービジョンの力量向上を目的とする	平塚市地域包括支援センター 主任ケアマネ連絡会	介護支援専門員 2
5月18日	セクハラ・パワハラ相談担当者研修	セクハラ・パワハラの法人内相談窓口としての役割等を学ぶ	公益財団法人21世紀職業財団	介護支援専門員 1
7月17日	認知症キャラバンメイト養成研修	認知症サポーター養成講座の展開方法を学ぶ	神奈川県保健福祉局福祉部	看護師 1
9月8日	精神保健福祉地域支援研修会	未治療・医療中断等の複雑困難例への多機関連携によるアウトリーチ支援の理解と技術向上	神奈川県精神保健福祉センター	社会福祉士 1
10月6日	認知症キャラバンメイト養成研修	認知症サポーター養成講座の展開方法を学ぶ	神奈川県保健福祉局福祉部	事務・介護職員 1
9月8、24日 10月5、22 11月9日	介護支援専門員実務従事者基礎研修	介護支援専門員新任者向けの基礎研修	NPO法人神奈川県介護支援専門員協会	介護支援専門員 5
10月31日 11月1日	社会福祉士実習指導者講習会	社会福祉士実習指導者に必要な知識・技術を学び指導者としてのスキルアップを図る	神奈川県社会福祉士会	社会福祉士 2
11月17日	就業規則運用研修	リーダーとしての心構えと役割。就業規則の理解。労務管理に関する知識を学ぶ。	社会福祉法人つちや社会福祉会	社会福祉士 1
12月17日	包括職員研修	精神障害者への支援	平塚市	介護支援専門員 1
1月21日	成年後見制度講座	任意後見の支援において、本人の意思をどのように具体化するか	平塚市成年後見支援センター	社会福祉士 1
2月18日	介護保険講演会「介護保険と医療連携」	介護保険における医療と介護の連携について、現状と課題、今後の向かうべき方向	平塚市福祉部介護保険課	看護師 1
2月19日	H27年度 第2回 地域包括連携会議	介護予防・日常生活支援総合事業～総合事業展開に向けて包括としてできること	神奈川県介護支援専門員協会	看護師 1

かながわライフサポート事業

<かながわライフサポート事業>

- 地域包括支援センターや居宅介護支援における個別相談の中で、経済的支援の必要な方へライフサポートの利用の検討もあったが、利用につながるケースはなかった。
- CSW(コミュニティソーシャルワーカー)の養成を地域包括支援センター以外の部門にも広げ、相談窓口を増やすことで法人全体として専門職が幅広く活動し地域に貢献していく体制づくりを進めた。